

ネット
LIVE
あり

コロナ対策とギガスクール構想

学びを止めるな!

2020

7/18

土

14:00~ (開場30分前)

浦添市てだこホール・小ホール
沖縄県浦添市仲間1-9-3

第1部

在宅学習、こどもたちの本音

コロナ禍の中、在宅を余儀なくされた子どもたちはどう感じているのか。その本音を聞きつつ、課題を考えます。

モデレーター：宮里大八

パネラー：宮里文人、宮里太人、高元直萌（沖縄市議）、金城円（沖縄STEM教育センター 理事）

30分

ビデオレター

新井紀子

国立情報学研究所教授同社会共有知研究センター長、一般社団法人「教育のための科学研究研究所」代表理事・所長。
著作『数学は言葉』『Allに負けない子どもを育てる』など多数。



実行委員会代表

高元盛兼

浦添市教育委員会
前教育長

コロナ第一波は、医療体制の確保が優先され、学校閉鎖により、子供たちの「教育を受ける権利」は保証できない状況でした。今こそ、第二波・第三波に備え、どのような課題があるのか、どのような連携が足りていないのか、課題・問題点を話し合う貴重な時だと思えます。そこで沖縄の教育を支える第一線の方々を招いてシンポジウムを開催いたします。きっと、新しい地域連携のヒントをお見せできると考えています。

15分

15分

学校ICT教育の取り組み

いま学校のICT活用はどうなっているのか。現場の教師が紹介します。

プレゼンター：宮城渉（沖縄県マルチメディア教育研究会）

そもそも「学び」はどこに向かうのか

～教育改革から見るこれからの教育～

文科省は何を実現したいのか。GIGAスクールの向こうにある未来の教室について解説します。

プレゼンター：翁長有希（キャリア教育コーディネーター）

30分

45分

第2部

ICT教育は新たな社会インフラ

端末配布の先にあるセキュリティやネットリテラシーなどGIGAスクールの課題、解決、将来像について語ります。

モデレーター：田上カルロス（IIA地域情報化委員会 委員長）

パネラー：波平三雄（同副委員長）、新垣一人（同副委員長）
仲間高乃（スクールガーディアン事務局 事務局長）

学校と地域の連携をどう実現していくか

報告1：野中光（琉球ミライ株式会社 代表取締役）

報告2：山口光士（CoderDojo浦添）

モデレーター：高元盛兼

パネラー：宮城卓司（沖縄マルチメディア教育研究会代表）、岩切宏友（琉球大学養育学部副学部長）、伊禮 靖（沖縄県PTA連合会会長）、松本哲治（浦添市長）

日時	2020年7月18日（土） 14:00-16:00(開場13:30)
会場	浦添市てだこホール・小ホール
参加方法	事前予約のみ先着100名 https://study.byten.jp （下記QRコード）からお申し込みください。

予約・ネット中継

下記から予約受付とネット中継いたします。視聴無料。

<https://study.byten.jp>



子どもたちの声も募集

<https://forms.gle/uEUfTRvXwa1cULuJ7>



主催：学びを止めるな！実行委員会

共催：沖縄県情報産業協会地域情報化委員会・沖縄県PTA連合会・琉球大学教育学部

後援：・（社）沖縄STEM教育センター・沖縄県マルチメディア教育研究会
沖縄県・浦添市（以下予定）琉球新報・沖縄タイムス・琉球放送・琉球朝日放送・沖縄テレビ

お問合せ：
study@byten.jp